



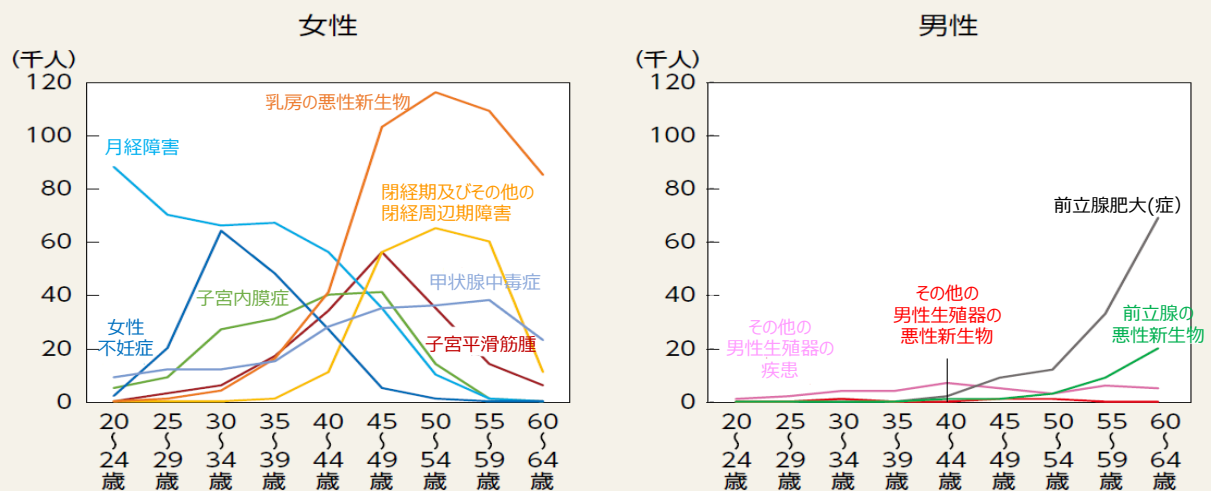
特集：仕事と健康の両立

●令和 6 年版男女共同参画白書による 「社会構造の変化と男女で異なる健康課題」

人々が直面する健康上の課題は、内容も課題を抱えやすい時期も男女によって異なります。男女共同参画の一層の推進のためには、男女双方の健康課題に対する正しい理解とそれぞれの特性に応じた健康支援が必要となります。

・男性特有の病気は 50 代以降で多くなる傾向にあるが、
女性特有の病気は 20 代から 50 代の働く世代に多い。

図-① 女性特有、男性特有の病気の総患者数〈年齢階級別・令和 2(2020)年〉



- (備考) 1. 厚生労働省「令和 2 年患者調査」より作成。
2. 総患者数は、ある傷病における外来患者が一定期間ごとに再来するという仮定に加え、医療施設の稼働日を考慮した調整を行うことにより、調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者を含む。）の数を次の算式により推計したものである。
総患者数＝推計入院患者数＋推計初診外来患者数＋（推計再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数（6/7））
推計に用いる平均診療間隔は 99 日以上を除外して算出。
3. 「乳房の悪性新生物」及び「甲状腺中毒症」は男性も罹患するが、女性に多い病気である。

問合せ先：阿見町男女共同参画センター（愛称：AMI ふらっとセンター）

〒300-0333 阿見町若栗 1886-1 中央公民館 1 階

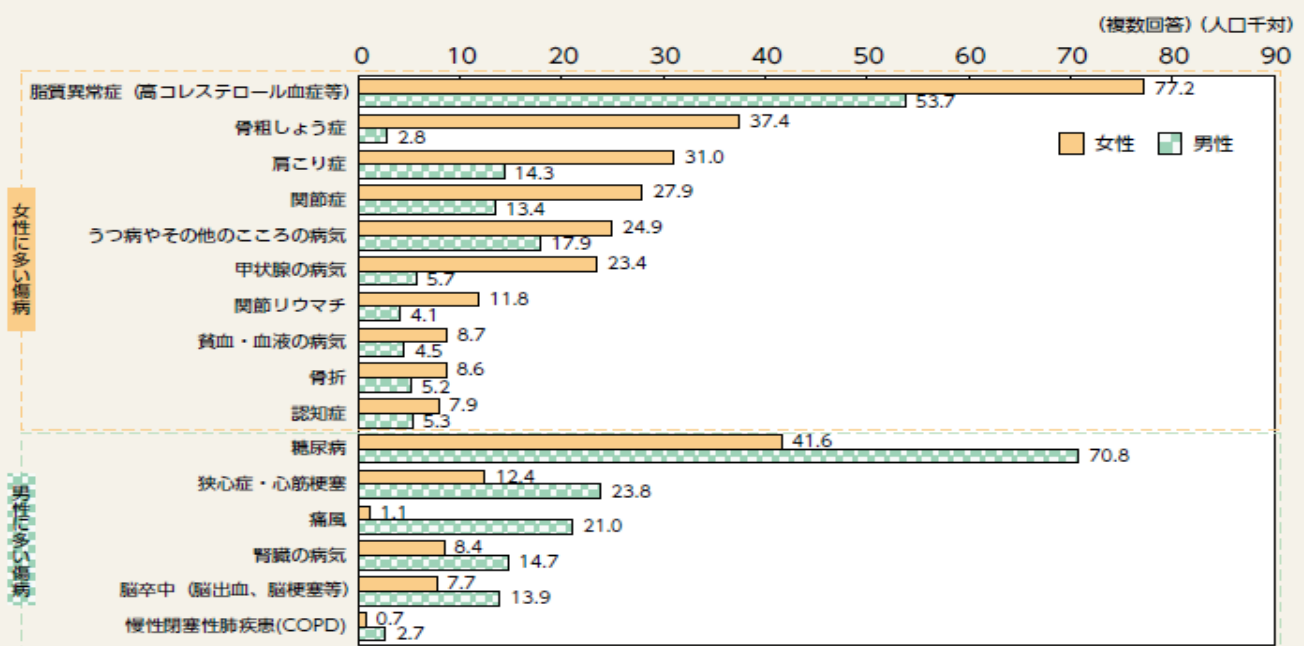
火曜日～日曜日 9：00～17：00

電話・FAX 029-896-3181

E-mail danjokyodosankakucenter@town.ami.lg.jp

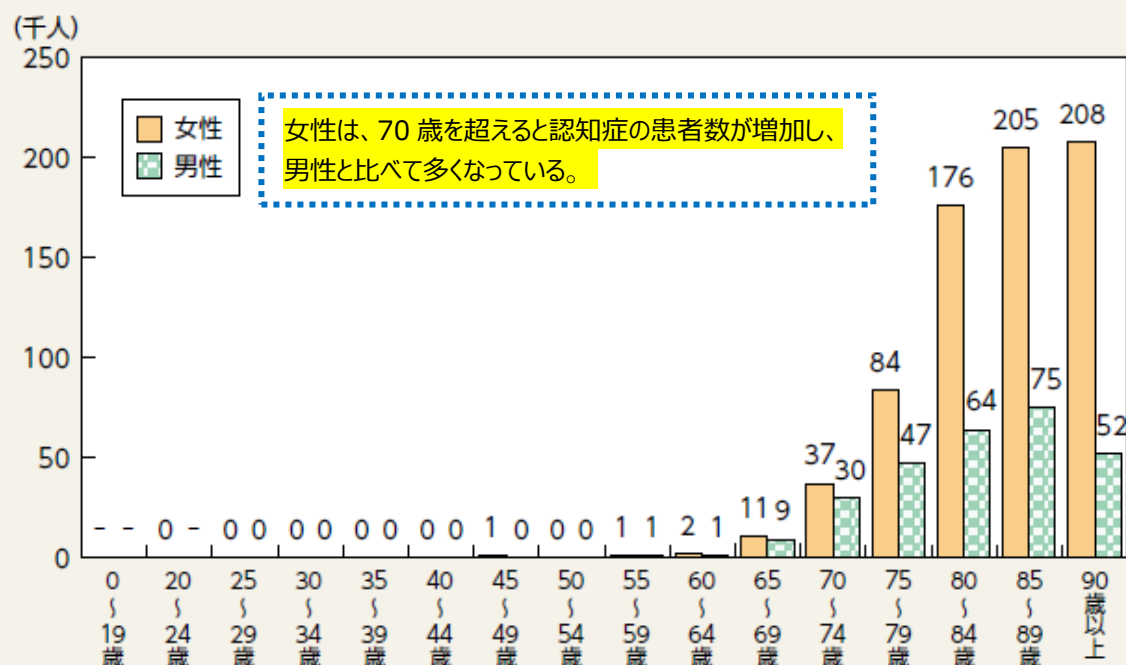


図-② 通院者率(人口千人当たり)の男女差が大きいがん以外の傷病<令和 4(2022)年>



- (備考) 1. 厚生労働省「令和 4 年国民生活基礎調査」より作成。
 2. 男女差がおおむね 1.4 倍以上ある傷病を掲載。
 3. 通院者率＝通院者（入院者を除く。）／男女別世帯人員（入院者を含む。）× 1,000
 4. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）は、主に長年の喫煙習慣や肺の成長障害が原因となって、徐々に呼吸機能が低下していく肺の病気（厚生労働省「スマート・ライフ・プロジェクト」ホームページ）。

図-③ 認知症総患者数<男女、年齢階級別・令和 2(2020)年>



- (備考) 1. 厚生労働省「令和 2 年患者調査」より作成。
 2. 総患者数は、ある傷病における外来患者が一定期間ごとに再来するという仮定に加え、医療施設の稼働日を考慮した調整を行うことにより、調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者を含む。）の数を次の算式により推計したものである。

$$\text{総患者数} = \text{推計入院患者数} + \text{推計初診外来患者数} + (\text{推計再来外来患者数} \times \text{平均診療間隔} \times \text{調整係数 } (6/7))$$
 推計に用いる平均診療間隔は 99 日以上を除外して算出。
 3. 「血管性及び詳細不明の認知症」及び「アルツハイマー病」の計。

第1回講座 「阿見町の気象の特徴を知り、災害に備えよう！」

日時：6月8日（土）10：00～12：00 場所：中央公民館 参加者：27人



気象予報士山本朝男氏、佐藤敦子氏のお二人を講師に迎え、「阿見町の気象と自然災害」講座を開催しました。気象災害の仕組みと段階的に発表される気象情報の見方や対処方法、警戒レベルに応じた行動についてわかりやすく解説。ワークショップでは災害時のシミュレーションを体験しました。



第2回講座 テレビ番組の舞台裏 ～アナウンサー体験もしてみよう～

日時：7月27日（土）13：00～15：00 場所：本郷ふれあいセンター 参加者：親子13組

テレビ朝日お客様フロント部の田邊美樹氏を講師に迎え、テレ朝出前講座「テレビ番組の舞台裏～アナウンサー体験もしてみよう！～」を小学4～6年生親子を対象に開催しました。前半の「テレビ番組の裏側」では映像の流れや番組スタッフの人数、カメラ機材の値段などクイズ形式で出題。後半は「アナウンサー・ディレクター・タイムキーパー」を模擬体験。講師の質問に積極的に手を上げて発表し、普段見ているテレビ番組の裏側を楽しく学びました。講座を体験して、将来なりたい職業について考える良いきっかけになったという声も多数寄せられました。

アナウンサー、ディレクターの体験が楽しかった

将来、アナウンサーになりたいので、基礎練習が体験できて良かった

タイムキーパーで計ったりするのが大変だった

初めはそんなに興味がなかったが、体験したらやってみたくなった

子どもたちの興味を上手に引き出し、実践と質問コーナーなど楽しく受講できました。TVの裏側を知る良い機会になりました（保護者）

●男女共同参画週間パネル展開催

6/23（日）～6/29（土） 中央公民館展示ホール



気づこう！あなたの中の「無意識の思い込み」

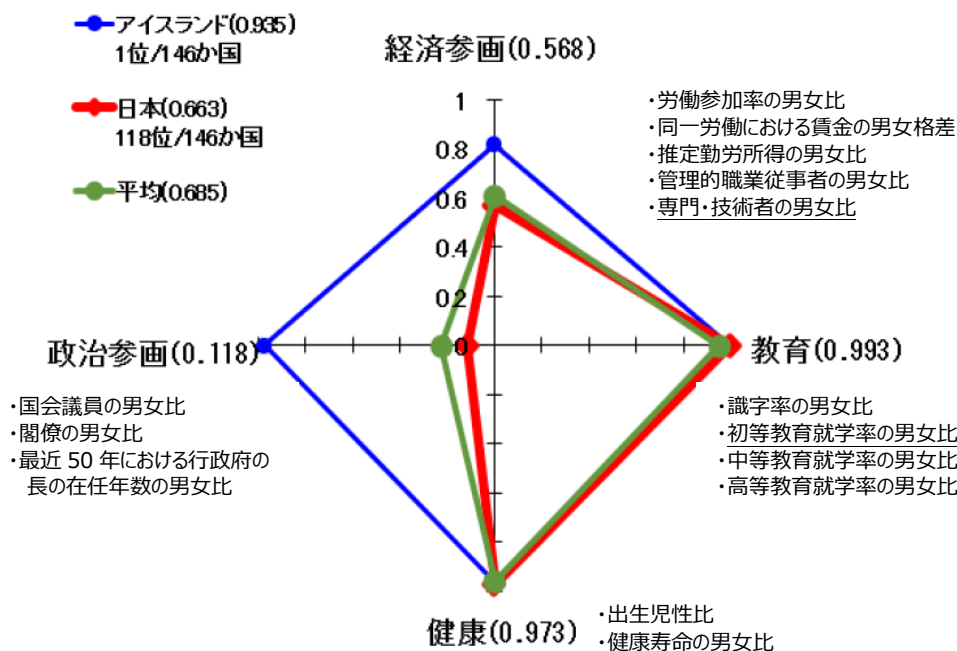
国では、毎年6/23～6/29までの一週間を「男女共同参画週間」と定め、啓発活動を実施しています。町ではこの期間に合わせ、「気づこう！あなたの中の「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」の内容でパネル展を開催しました。また会場ではシールアンケートを実施し、多くの方々にご協力をいただきました。

来場者のみなさんからは、「家庭では昔の風習が残り難しい」「これからますます世の中の意識が変わると思います。いろいろな考え方、働き方、多様性をもっともっとみんなに理解されることを願っています」などの感想が寄せられました。

世界の「ジェンダー・ギャップ指数（GGI）2024」が発表されました！

日本の男女格差は 146 か国中 118 位 (2024.6.12 発表)

- 世界経済フォーラムが毎年発表する男女平等ランキング「ジェンダー・ギャップ指数」は政治、経済、教育、健康の4分野のデータから構成された男女格差を測る指数です。男女が平等であればスコアが「1」、格差が大きいほど「0」に近づきます。
- 日本は 146 か国中 118 位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスですが、「政治」と「経済」の値は女性参画が遅れ低くなっています。（資料参照：内閣府男女共同参画局ホームページより）



順位	国名	値
1	アイスランド	0.935
2	フィンランド	0.875
3	ノルウェー	0.875
4	ニュージーランド	0.835
5	スウェーデン	0.816
7	ドイツ	0.810
14	英国	0.789
22	フランス	0.781
36	カナダ	0.761
43	アメリカ	0.747
87	イタリア	0.703
94	韓国	0.696
106	中国	0.684
118	日本	0.663

- 備考 1.世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書（2024）」より作成
2.下線が記載された項目は日本の数値がカウントされていない
3.分野別の順位：経済<120 位>、教育<72 位>、健康<58 位>、政治<113 位>

センター後期事業予定

項目	テーマ	予定日	定員	場所
第 3 回講座	歴史から見てくる男女共同参画	10/5 (土)	20 人	実穀ふれあいセンター
男女共同参画社会推進講演会	ダイアンから見た日本～笑いで世界をひとつに～	10/6 (日)	300 人	本郷ふれあいセンター
さわやかフェアパネル展	「男女雇用均等法から 30 年」～女性就労の変化～	10/27 (日)	-	さわやかセンター
パネル展	パートナー等に対する暴力の撲滅	11/12(火)～11/24(日)	-	本郷ふれあいセンター
第 4 回講座	気づこう！身近にある「ダイバーシティ」とあなたの中の「アンコンシャス・バイアス」	11/30 (土)	20 人	吉原交流センター

※詳しくは広報あみ、町ホームページ、ポスター等でお知らせします。